



2002年 12月15日発行(隔月刊)



# う 羽 化 か


2002年12月  
第35号

横 浜 漢 点 字 羽 化 の 会  
 〒231-0851 横浜市中区山元町2-105 Tel 045-641-1290  
 発行責任者 代 表 岡 田 健 嗣  
 編集責任者 宇田川 幸 子



## 目 次

連載「点字から識字までの距離」(32) (山内 薫)	1
東洋医学について (7)	4
点字の読みづらさと漢点字の触読について (19) (岡田 健嗣)	7
ご報告と案内	12
漢文のページ	15
イラスト版「漢点字ってどんな字？」(33)	17
平野久美子と短歌鑑賞	23



## 点字から識字までの距離 (三三)

山内 薫 (墨田区立緑図書館)



### マルチメディア・デイジーについて (一)

一般の本や雑誌などを、そのままでは読むことのできない視覚障害者などの資料として、点字図書や録音図書が点字図書館や公共図書館で作られている。

平成一三年に行われた身体障害者実態調査によると、一八歳以上の視覚障害者三〇万一千人のうち点字を読める人の数は三万二千人、一〇・六％という結果が報告されている。しかも六〇歳以上が実に七二・九％に達し、高齢になって失明する人の数が増えているために、視覚障害者の読書可能な資料として録音図書の需要はますます高まっている。

現在、主に視覚障害者向けの音声資料として作成されているこの録音図書は、当初オーブンリール・テープによって、現在はカセット・テープによって作られている。しかしこのカセットテープはCDやMD等の登場で生産が減少しつつあり、

カセットに代わる媒体として開発されたのがデイジーというCD-ROMによる資料である。

デイジーと云うのはDigital Accessible Information Systemの頭文字、D・A・I・S・Yを採ったもので、従来のカセットによる録音図書に代わるものとして、すでに点字図書館や民間のボランティア・グループなどで製作が行われている。デイジーは一枚のCD-ROMに五三時間の録音が可能であり、テープでは考えられなかった、読みたい章や節、ページに瞬時に飛ぶことや、ブックマークという本でいえばしおりに当たるものを八箇所まで記憶させておくこともできる。現在このデジタル録音図書は国際規格として一二期間で採用され、製作、開発が行われている。

去る一月、このデイジーを巡る講演会が日本障害者リハビリテーション協会の主催によって二回開催された。一月一日にはスウェーデン・デイスレクシア協会の副会長で、自らもデイスレクシアであるハンス・ハンマルンド氏が「スウェーデンにおけるCD-ROMの認知障害・知的障害者への応用」という講演を行った。デイスレクシアについてはこの連載の一五回（『うか』第一六号）で紹介したことがあるが「知的には問題がな

いにも関わらず、読むこと・書くこと・時に話し言葉・数的処理に困難を伴い、特に読み書き言葉に関して、一つもしくはそれ以上の特異的な学習上の困難を示す障害」(ロンドンディスレクシア研究会の定義 『ディスレクシアの本』 特定非営利活動法人エッジ 一九九九より)であり、失読症とか難読症と訳されることもある学習障害のひとつである。

この冊子に「ノルウェーのDr. Toril Fagerheiがディスレクシアの家族にディスレクシア傾向を持つ者が染色体のひとつを受け継ぐことにより発症するということをつき止めました。」と載っている。遺伝的な傾向の強い障害であると言えるだろう。事実、講演者のハンマルンド氏の兄弟や子どものうちの何人かもディスレクシアであるという。スウェーデン・ディスレクシア協会には五千人の会員がいるが、スウェーデン全体では五万人のディスレクシアが存在すると予測されている。またヨーロッパ・ディスレクシア協会では世界人口の5%から一〇%がディスレクシアをもつとも概算している。

最近も『スウェーデン王女勇氣の告白「級友に笑われ苦しんだ子どものころ」―失読症でいじめ

…：思いやり訴え』という記事が新聞に載っていた。(毎日新聞 二〇〇二年八月一日 朝刊) この記事によると、スウェーデンのビクトリア王女は、子ども時代に文章を声に出して読むことが困難な失読症でいじめられていたが、専門教師の指導で失読症を克服したという。父であるグスタフ国王や弟のカール・フリッツプ王子もやはり失読症であったが症状を克服した、とその記事には載っている。



さて、講演の中で、現在開発中のマルチメディア・デイジーの紹介があった。マルチメディア・デイジーは音声だけではなく、音声と同時にテキストと画像がシンクロ(同期)するもので、読者は音声聞きながら画面上に表示され、黄色くハイライトされたテキストを同時に読むことができる。

また絵本や料理の本などの場合には、一緒に絵や写真も見ることが出来る。よく一字一字指で指しながらでないと文字を読めない子どもがいるが、そうした子の多くがディスレクシアであり、読みに何らかの障害を持っている。そうしたうま

く読むことのできない人にとってこのマルチメディア・デイジーは大きな福音となるに違いない。講演者のハンマルンド氏が子どもの頃、教科書をうまく読むことができないので、母親が教科書の文章を指で指しながら声に出して読んでくれたという話をされ、「デイジーができるまで、母が私のデイジーでした。」と述べ、笑いと感動を誘った。ハンマルンド氏はデイスレクシアであるために公表された論文はないと主催者が紹介したが、講演はゆっくり落ち着いた話しぶりで非常に論理的であった。



マルチメディア・デイジーはデイジー同様、音声の読むスピードを速くしたり遅くしたりすることができ、画面上の文字の大きさを大きくすることもでき、ゴシックの二〇ポイント程度の文字が画面に表示されるので、小さい文字では読めない弱視者や高齢者にも読めるものとなっている。

また、テキストはピンディスプレイによって点字でも出力することができ、音声と点字で同時に読むこともできる。さらに現在は話し手がしゃべっている映像と声をシンクロさせるものも開発中

であるとのことだった。(つまり字幕付きの映画に近い) このマルチメディア・デイジー図書は視覚的な要因から読むことのできない人だけではなく、学習障害、知的障害、精神障害など、広範囲の読むことに障害を抱えている人にとって有効であることが証明されようとしている。

会場の質問でも出ていたが、今回の講演では認知障害者や知的障害者のデイジーの利用についてはほとんど触れられなかったのが残念だった。ここまで技術が進歩してきたのだから、テキストを読んでくれる話し手の映像を自由に選択できて、あたかもその人が話してくれているようにできないだろうかと考えてしまった。日頃貸出に行っている授産施設で働いている知的障害の人の中には、以前にも書いたように竹野内豊やキムタクの大ファンがいるので、そのお話をあたかも竹野内豊やキムタクが話してくれているように見られたらどんなに楽しくかつ真剣に聞けるだろう。また、実在の人ではなくて、ウルトラマンが算数の教科書を、ミッキーマウスが英語の教科書を読んできた、あるいは一七条憲法について聖徳太子が話してくれたら……等々想像は膨らむばかりである。

(以下次号)

# 東洋医学について(七)

## 小池上 惇



### 七 証



証とは、診断的、治療的にある意味を持った一連の症候群で、診断の結論、治療法などを示すものです。

つまり、診断によって選ばれた情報のうち患者の体質、病因、病に対する抵抗力、症状などにより患者の全体像を把握し、治療法をも示すためのものです。

証には、八綱病証、気・血・津液の病証、臟腑病証、経絡病証、三陰三陽病などがありますが、ここではその一部を紹介します。

### (一) 八綱病証

八綱とは、陰陽、表裏、寒熱、虚実のことで、これによって心身のひずみを捉えたものが八綱病

証です。

表裏は病の位置をあらわすもので、寒熱は病気の性質・状態、虚実 は病気に対する抵抗力や病因の強さを表すものです。陰陽は表裏、寒熱、虚実を総合したもので、総綱と呼ばれています。



### ア 表証と裏証

#### ① 表 証

病が体表近くに存在するもの。主な症状は、悪寒、発熱、頭痛、関節痛などです。

#### ② 裏 証

病気が体の深部にあることを示すもので、臟腑機能の失調を伴っています。主な症状は、腹痛、下痢、便秘などです。

#### ③ 半表半裏証

病が表と裏の間にあるものです。主な症状は、往来寒熱、胸脇苦満、目まい、口渴などです。



## イ 寒証と熱証

### ① 寒 証

寒邪の侵襲によるものと陽気の不足によるものがあります。主な症状は悪寒、悪風、顔面蒼白、四肢厥冷、多尿、下痢、暖かいものを好むなどです。

### ② 熱 証

熱邪の侵襲によるものと陰虚によるものがあります。つまり、陰が衰えたために相対的に陽が強くなつた状態です。主な症状には、発熱、口渴、顔面紅潮、冷たいものを好む、尿量減少などがあります。

## ウ 虚証と実証

### ① 虚 証

体の抵抗力が衰えた状態で、多くは内傷病で見られます。東洋医学では、抵抗力の衰えることを正気の衰退といいます。これは体質虚弱、疾病の長期化、出血などに見

### ② 実 証

られます。外邪の侵入、あるいは病的産物の蓄積によって起こるもので、一般に機能の亢進した状態を示し、比較的激しい症状を表します。

## エ 陰証と陽証

### ① 陰 証

陰証とは、裏・寒・虚を合わせたもので、主な症状は顔面蒼白、声に力がない、体が冷える、尿量が多い、下痢などです。

### ② 陽 証

陽証とは、表・熱・実を合わせたもので、主な症状は顔面紅潮、声に力があり、元氣、体が火照る、尿量が少ない、便秘などです。



## (二) 気・血・津液の病証

### ア 気の病証

気の病証には、気が不足する気虚と、気の流れが滞る気滞があります。

#### ① 気 虚

気の不足によって臓腑の機能が低下した状態です。主な症状は倦怠感、疲労、声に力がない、息切れなどです。

#### ② 気 滞

気の停滞によるもので、感情の抑制やストレスなどによって起こります。主な症状は激しい疼痛、精神不安定、腹部膨満感などです。

### イ 血の病証

血の病証には、血虚とお血があります。

#### ① 血 虚

血の不足によって血の滋養作用が低下した状態で、現代医学の貧血に当たります。主

#### ② お 血

な症状は、顔面蒼白、唇や爪の色が薄い、目まい、不眠、手足のしびれなどです。血の滞りや出血などによるもので、主な症状は、疼痛、出血傾向、チアノーゼ、口乾などです。

### ウ 津液の病証

これには、津傷と水滞があります。津傷は脱水症、水滞は余分な津液が停滞したもので、浮腫や水腫などに当たります。

次回は東洋医学の診断法について書きます。



点字の読みづらさと

漢点字の触読について(十九)

横浜漢点字羽化の会 代表 岡田 健嗣

## 七 点字の漢字には二つの体系がある？(承前)

【前回では、〈六点漢字〉についてご紹介しました。

〈六点漢字〉は、私たちが使用し、本会の活動の主要なテーマである〈漢点字〉と並んで、現在「二つの点字の漢字体系」として流布されているものです。それが私に知られる限りで、どのようなものであるかをつまびらかにしてみたいと考えました。

前回述べたように、〈六点漢字〉と呼ばれる点字符号の体系は、コンピュータのキーボードから直接に入力して、墨字の文字を出力させることを目的に開発されたものでした。創案者は元筑波

大学附属盲学校理療科教諭の長谷川貞夫氏です。

これまで視覚障害者が独力ではなし得なかったのが、「墨字を書く」ことでした。視覚障害者が「文字(墨字)」を「書く」ということは、書名であれ、文章であれ、「代筆」の形で、必ず晴眼者の力をお借りすることを意味していました。

現在でもそれは決して容易なことではありませんが、それでも不可能なことではなくなりました。パーソナル・コンピュータとそれを音声化する技術の登場で、普通にキーを操作することで、ほんの僅かではありますが、実現されたのです。

長谷川氏がこのコンピュータに注目して、自ら墨字が書けないかと研究を始めたのは、いわゆるパソコンが世に出るより早い時期のことでした。コンピュータの発達は目覚ましく、氏の研究はその追い風に乗って、着々と実を結んで行きました。

氏の研究には課題が二つありました。一つはコンピュータのキーボードに点字のパターンを入力して、墨字を出力させるソフトウェアの開発でした。今日私たちが使用しているローマ字、あるいはカナ文字の入力から漢字を選択するためのフ



ロント・エンド・プロセス（コロコ）に相当する、キーボードから入力された一連の符号を、即時に一つの漢字に変換するソフトウェアが必要でした。

コンピュータには、複数のキーが同時に押された時の信号を処理することは、本来想定されていません。しかし、何故か六つのキーの組み合わせを同時に、それも点字のパターンを同時に押すことで、カナ文字の一字を出力させることに成功したのでした。

もう一つが、漢字の入力をどうするか、ということでした。現在私たちが行っている漢字の入力は、ローマ字、あるいはカナ文字を入力して、コロコの機能によって、その読みに相当する漢字を選択する方式です。

これはローマ字変換、あるいはカナ



文字変換と呼ばれています。氏がお考えになったのは、それとはちょうど反対の方式でした。キー入力の時点で漢字を符号化して、一つの符号を一つの漢字に当てて、変換する方式です。コンピュータは、文字を、全てコード番号に当てて管理していますので、結果的には、漢字そのものに

当てるのではなく、その漢字のコードに当てるところで目的は果たされました。しかし、この方式では、文字の数だけ入力用の符号を用意しなければなりませんでした。

漢字を符号化するに当たって、氏が漢字の特徴として着目したのが、その「読み」でした。漢字は『音』と『訓』という二つの「読み」があるので、それをキー入力用の符号に応用すればよい、とお考えを決められました。これが〈六点漢字〉の始まりです。】



## 六点漢字

（付記）



前回では〈六点漢字〉を、左のように説明しました。

《（略）これらと音が同じ漢字に当たる六点漢字は、頭の音の点字符号も同じとなるのではないかと、という見当が付きまします。（略）このことから、六点漢字の符号は三つのマスで構成されていて、前二つが〈音〉を、後ろの一つが〈訓〉の頭の音一つを表していることが分かります。》




〈六点漢字〉の構造の原則は以上です。しかしこれでは符号の数が大幅に不足します。そこで、

原則を拡大して、一つの音を幾つかの符号に当て、訓に当たる符号にも工夫が加えられました。

《(略)》音も訓も同じという漢字も存在するはずです。

例を挙げて見ましょう。「観、看、監」という三つの漢字は、総て音が『カン』、訓が『ミル』です。この訓の『ミル』という和語の範疇が広く、表記上それぞれの漢字を使い分けることになっています。(略)

(観・、看・、監・)












ここで分かることは、『カン』という音は大変沢山あるため、点字符号が「」と二つ用意されていることです。また、〈観〉と〈看〉の訓に当たる点字符号が「ニ」と「ナ」となっていることで、これを見ただけでは、その理由を理解することはできそうにないことです。










〈監〉の訓の符号「ラ」だけが、辛うじて部首の「皿(サラ)」に由来しているのかな、と思わされるだけです。》

これで、〈六点漢字〉の構成が、漢字の『音』と『訓』の読み、それも頭の一音を採用して組み合わせさせていることと、それで足りないところは、『音』の符号は、同音の符号を増やすことで、

『訓』の符号は、別の概念を持ち込んで、新たな符号を導入していることが分かって来ました。

新たな符号とはどんなものでしょうか？

右の例の「観・看・監」の三つの漢字を見ても、まずと、「観、」「看、」「監、」でした。「」「」の符号は何れも『カン』の音を表す符号で、「寛、」「」の「」とともに、三つの符号で『カン』という音を表します。それでは、訓の位置にある「・・」は、何を表しているのでしょうか？

先に「・」は「監」に含まれている部首の「皿」ではないか、また、「寛、」「」の「」は「ウ冠」のことではないか、と書きました。それは正解のようで、この度、「観」の「・」は「見」、「看」の「・」は「目」を表していることを知りました。つまり、『訓』を符号として使えない場合には、『部首』を符号化するのです。これを〈部首符号〉と呼んでいきます。

(以上、〈六点漢字〉についての詳細は、他の資料に譲ります。)



## 点字の漢字の二つの体系



### ①「点字の漢字」が何故二つ？

「二つの点字の漢字」という言葉が使われ始めたのは、何時頃からだっただけでしょうか？

私が漢点字に出会ったのは、一九七八年で、通信教育を終了したのが一九七九年でした。当時は特に迷いもなく漢点字を学習して、早く漢字の世界に触れたいと、勉強に取り組むことができたので、まだこのような言われ方はなかったように思われます。

漢点字の周辺の出来事で私に最も印象的だったのは、八〇年代に入って、視覚障害者の漢字への関心が急速に高まったことでした。

各点字の出版社では、雑誌に「漢字」の特集を組んだり、「漢字」の解説書を出版したりという動きが盛んになりました。毎日新聞社でも、点字毎日誌上に、「漢字」を紹介するページを設けたり、触知用の点線で表された「盲人の



ための漢字学習事典」（志村喬編、一九八二年、全一八巻）が発行されたりしました。当時の視覚障害者の漢字に対するニーズに応えようと、各誌、各社で、多方面からの企画が提出され、漢字の学習者を後押ししました。漢点字を学習して漢字の世界に入ろうと希望する人も沢山現れて、川上先生の睡眠時間が通信教育への対応で、どんどん減少しているとお聞きしたものです。

しかし、その熱も急激に冷えて行きました。その理由は色々言われていますが、私には、左の四点に集約されると思います。

イ. 文字の独習は、大変困難である。我が国

の、また世界の識字の歴史からも、文字は、初等教育の学習が肝要であって、成人になるまで漢字に触れたことのない人の独習には、その困難を克服する、更に手厚いサポートが必要であった。

ロ. 盲学校、点字図書館、点字図書出版社等

の、視覚障害者向けの点字による文字情報の発信者が、公式には、現在に至るまで、視覚障害者にとつての、漢字の知識の必要性を認めていない。

ハ. 漢字習得のニーズは高まったが、漢点字ば

かりでなく、墨字のパターンの学習で事足りるといふ言説が流布されて、触読文字への関心が拡散した。そのために『読む』ことの重用さが忘れ去られて、現在に至っている。

二、漢点字使用者からの、漢点字の有要性の「ㄇ」が不十分であった。独力の学習に失敗した人たちへのケアも不十分であった。

八〇年代の漢字への関心の高まりは、間違いない漢点字の出現がもたらしたものです。漢字の学習それ自体が閉ざされていた視覚障害者の前に、漢点字がその扉を開いてくれたのです。初めて「漢字」を指に触れて読むことができた時、皆、驚きと感動に震撼させられたことを忘れることができないでしょう。

しかし、何故盲学校や点字図書館が漢字の教育と資料の作成に背を向けているのか、大きな謎です。

そのような八〇年代に、「漢点字」と並んで、「六点漢字」が「漢字の点字」として脚光を浴びるようになって行きました。

一昨年（二〇〇〇年）、漢点字使用者の有志が、漢点字の公的な認知を求めて、当時の文部省

を訪れて陳情を行いました。

その際にも、文部大臣を始め担当係官の方々から、異口同音にこの「二つの点字の漢字」の並存について質されました。「両者は何故融合できないのか？話し合いはしていないのか？点字の漢字が二つあるのでは、公としては、どちらかを採用することはできない。」

残念ながら有効な答を示すことはできませんでした。何故できなかったのか？このことは私たちが漢点字使用者にとっても最も大きな課題ですが、視覚障害者全体にとっても、解決が急がれる問題であると、私には思われてなりません。

本稿ではこの「二つの点字の漢字の体系」と呼ばれる「漢点字」と「六点漢字」を、比較・対照して検討してみたいと思います。

「今回は「文字」の概念に照らして、「漢点字」と「六点漢字」の位置付けを考えます。」

（続く）



## 「報告と」案内

### 「ボランティア・フェスティバル」に参加しました

去る十一月二十三日（土、勤労感謝の日）、横浜市社会福祉協議会・ボランティア部会の主催で開催された「横浜ボランティア・フェスティバル」に参加しました。

本会は、一九九六年に現在の体制で活動を始めましたが、このような形で一般の皆様はその成果をご覧いただくのは初めてです。ご来場のお客様には、多くのご関心をお寄せいただけたものと存じます。内容は左の通りです。

- ① **パネル展示**…漢点字の構成と本会の活動を、八枚のポスターにまとめて展示しました。本会の活動のあらましが一目でお分かりいただけるよう、工夫しました。
- ② **リーフレットの作製**…漢点字のあらましと、本会の活動の理念を、A四判二つ折りのリーフレットにまとめて、お客様にお持ち帰りの

ただきました。

その内容の一部を、ここに資料として転載致します。ご精読下さい。

- ③ **漢点字・体験コーナー**…本会の活動の根幹であるコンピューターによる漢点字訳を、フェスティバルのために開発したソフトウェアで体験していただきました。



点字盤で点字を打つ体験をしてもらいました。



EIBRKWで仮名点字変換だけではなく漢点字変換も出来る操作方法を説明している様子です。(驚かれ大変興味を示されました)

漢点字訳は、通常、コンピュータでテキストファイルを作製することから始まります。漢点字訳の活動ではその作業は欠かせないものですが、ここでは、漢点字への変換がどのように行われるか、また、漢点字がどのような点字であるかを、

ご自身の手で・目で感じていただくことを目的としました。

キーボードを叩いて普通に文字を入力することで、漢点字が表示されることに、皆様は大変驚いておられました。お立ち寄りの皆様には、キーボードを打ちながら、漢点字が、あながち遠い存在でないことを、肌で感じていただけたものと存じます。

今後とも機会を捕らえては、漢点字の存在を、社会へ発信して行きたいと思っております。

「資料 「フェスティバル用のリーフレット」より」

### 漢点字をめぐる現況

〈漢点字〉は、一九六九年、今から三〇年余り前に、当時大阪府立盲学校で教鞭をとっておられた故川上泰一先生が創案し発表されました。それまでの日本語の点字はカナ文字だけで、漢字がないばかりか、ひらがな・カタカナの区別もありませんでした。

川上先生のご尽力にも関わらず、視覚障害者の教育機関である盲学校では、それまでと同様、現在も漢字の教育に前向きではありません。漢点字という触読用の漢字を取り上げようとされません。

これまで世界の各地で行われて来た『識字』の運動

は、公教育制度の確立に支えられて来ました。現在も国連、ユネスコ、ユニセフ等の国際機関、各国の政府機関、NGO等の非政府組織や個人が、公教育を通して、『識字』の充実を図ろうと努力しています。このことは一般的に、世界のコンセンサスとして、『識字』が、基本的な（人権）であり、『生存権』の核をなしていることを意味しています。

その意味で、一人日本の先天の視覚障害者だけが、現在も『非識字』を常態として取り残されていることに、皆さまの注意を向けていただくことが肝要と考えます。

そして、先天の視覚障害の児童・生徒への漢点字教育と、社会人である成人の皆さまへの『識字』の振興に、広いご理解と、具体的な取り組みを希望して止みません。

### 入力マニュアルが完成しました

EIBRKWのユーザー、そしてこれからお使い下さるうとお考えの皆様に、大変お待たせ致しましたが、入力マニュアルが完成しました。

EIBRKWは、本会のオリジナルの漢点字訳のソフトウェアです。墨字の文書を、自動的に漢点字の文書に変換して、点字プリンターに打ち出したり、ピンディスプレイに表示させたりするプログラムです。

しかし残念ながら、一般の墨字の文書を、そのま

ま触読用の点字（漢点字）の文書に変換しただけでは充分ではありません。

そこで、触読に適した漢点字の文書に変換できるように、一つの方式に従った入力法が必要と考え、マニュアルの作製に踏み切りました。

既に本誌に連載したのですが、その後に、加筆と訂正を行いました。ご精読下さい。

### 新年会を行います

二〇〇三年の新年会を、例年の通り行います。  
時間と場所：二〇〇三年一月一九日（日）

PM13:00～PM15:00  
ホテル・リッチ・地下「力車」  
（横浜駅西口三分）

お近くの皆様は、ご参席下さい。

右記のお問い合わせは、

電話：〇三・三六一三・三二六三（岡田）

FAX：〇四五・八〇三・九三二九（木下）

E-MAIL: takeshi-okada@h2.dion.ne.jp  
（岡田）

横浜漢点字羽化の会 URL:

<http://ukanokai-hp.hp.infoseek.co.jp/>  
お待ち申し上げております。



# 漢文のページ

『論語』より、君子と小人についての章句を集めてみました。いずれも「子曰」に続く言葉です。

君子ハ 喻リ 於ニ 義ニ、小人ハ 喻ル 於ニ 利ニ。  
（里仁第四・一六）

（君子は正義に明るく、小人は利益に明るい。）

君子ハ 坦ラカニ 蕩タリ 蕩タリ 小人ハ 長エニ 戚タリ 戚タリ。  
（述而第七・三六）

たいとうとうとう とくしな せきせき

（君子は平安でのびのびしているが、小人はいつもくよくよし  
 ている。）

ハ シテ ゼズ ハ

君子ハ 和レ 而レ 不レ 同ジテ、小人ハ 同ジテ 而レ 不レ 和セズ。  
（子路十三・二三）

（君子は調和するが雷同はしない。小人は雷同するが調和はしない。）

君子ハ 上シ 達ス、小人ハ 下ス 達ス。  
（憲問十四・二四）

（君子は高尚なことに通ずるが、小人は下賤なことに通ずる。）

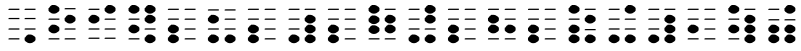
孔子は、女子と小人について、このようにも言っています。

「唯女子與小人、爲難養也。近之則不孫。遠之則怨。」  
 （陽貨十七・二六） 唯だ女子と小人とは養い難しと爲す。これを近づければ則ち不孫なり。これを遠ざくれば即ち怨む。（女と下々の者とだけは扱いにくいものだ。近づけると無遠慮になり、遠ざけると怨む。）

これには反論もあるうかと思いますが、孔子も女性と小人には手を焼いたということでしょうか。

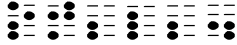
於ニ 義ニ 君子ハ 喻ル 小人ハ 不レ 喻ル。





ニ、 小人ハ 喩ル 於

利ニ



君 子ハ 坦ラカニ 蕩 蕩

タリ。 小 人ハ 長ヘニ 戚 戚

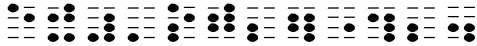
タリ。



君子ハ 和シテ 而 不 同

ゼズ、 小 人ハ 同ジテ 而

不 和 セズ。

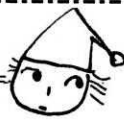


君 子ハ 上 達シ、 小 人ハ

下 達ス。



※漢文の訓読と通釈は、『論語』(金谷治訳注・岩波文庫)によりました。



イラスト版



# 漢点字ってどんな字？ 33

## つくりになる漢点字、〈傍側基本文字〉（1）

おねえさん これまで偏や冠や脚など、漢字の意味を表す部首の漢点文字符号を見てきたのね

未 未 未  
来 来 来  
ち ち ち  
ゃ ん ち ゃ ん  
今 今 今  
日 日 日  
か か か  
ら ら ら  
は ？ ？ ？  
志 志 志  
朗 朗 朗  
君 君 君  
へ へ へ  
つ づ づ  
く り り り  
だ だ だ  
ね ね ね

未 未  
へ へ  
つ づ  
く り り  
と っ  
い っ  
つ づ  
て っ  
も っ  
す っ  
ご っ  
く っ  
数 数  
が が  
多 多  
い っ  
か っ  
ら っ  
… っ

お よく使われるものからみていきましようね。では、始めてね。

**離**

音「リ」  
訓「はな、れる」

未 未  
三 三  
三 三  
の 点  
に 三  
イ、  
離 離  
は、 佳  
ふ 三  
る 三  
の 三  
よ。 三  
に 三  
な 三  
ら 三

お これは第一基本文字の〈家〉や〈草〉と同じような考え方のようね。

志 志  
三 三  
三 三  
が 三  
う 三  
か 三  
む 三  
ん 三  
り、  
草 草  
三 三  
三 三  
が 三  
く 三  
さ 三  
か 三  
ん 三  
む 三  
り  
に 三  
な 三  
る 三  
よ 三  
う 三  
に、  
離 離  
が 三  
ふ 三  
る 三  
と 三  
り 三  
代 三  
表 三  
と 三  
い 三  
う 三  
わ 三  
け 三  
だ 三  
ね 三

未 未  
つ 三  
く り 三  
に 三  
な 三  
る 三  
基 三  
本 三  
文 三  
字、  
傍 三  
側 三  
基 三  
本 三  
文 三  
字 三  
と 三  
い 三  
う 三  
の 三  
よ 三

志 志  
佳 三  
だ 三  
け 三  
の 三  
漢 三  
字 三  
も 三  
あ 三  
る 三  
け 三  
ど 三  
三 三  
マ 三  
ス 三  
の 三  
漢 三  
点 三  
字 三  
に 三  
な 三  
る 三  
ね 三

未 未  
佳 三  
は、 三  
丸 三  
く 三  
か 三  
ら 三  
だ 三  
を 三  
膨 三  
ら 三  
ま 三  
せ 三  
た 三  
鳥 三  
の 三  
形 三  
な 三  
ん 三  
だ 三  
っ 三  
て 三

佳 三  
は、 三  
丸 三  
く 三  
か 三  
ら 三  
だ 三  
を 三  
膨 三  
ら 三  
ま 三  
せ 三  
た 三  
鳥 三  
の 三  
形 三  
な 三  
ん 三  
だ 三  
っ 三  
て 三

**佳**

ス イ  
と り



お 隼はどんな字に含まれているの？

**推**

音「スイ」、  
訓「お、す」

手 + 隼

志 音のスイは、隼の音だね。  
未 おしはかるの意味ね、  
推理とか推測とか。



**誰**

音「スイ」  
訓「たれ、だれ」

言 + 隼

志 だれ？ 人を尋ねる意味だ。

「誰」は  
だれだ！ って  
意味だねえ



え？  
今の誰？



あら、  
おじいちゃん

**惟**

音「イ」、  
訓「おも、う、  
これ、ただ」

立心偏 + 隼

志 ええつと、これは心に関わる意味だ  
未 心で思う、ちよつと難しい意味ね。

**唯**

音「ユイ」  
訓「ただ」

口 + 隼

志 ただ一つという意味なんだ。  
未 唯一、唯神論、唯物論、  
唯識とか使われるわね。



志 隼の付く漢字はたくさんあるよ。

**集**

シユウ  
あつめる

**稚**

チ  
おさない

**雀**

ジャク  
すずめ

**雇**

コ  
やと、う

**難**

ナン  
かた、しい  
むずかしい

**焦**

シヨウ  
あせる  
こ、げる

# 井

音「セイ」  
訓「い」

志 井戸の井、部首の一つとして挙げられてはいるけど、例になる字すくなく少ないのね。

# 耕

音「コウ」  
訓「たがや・す」

井 + 耂  
ライ・スキ

# 尹

音「イン」  
訓「ただ・す、おさ」

志 手の形だ、この手で世を治める。

# 伊

音「イ」  
訓「これ、ただ」

人 + 尹

志 未 本来の漢字とは左右が逆ね。伊豆、伊東、伊藤さんとか、地名や人名によく使われているね。

# 及

音「キユウ」  
訓「およ・ぶ、およ・ぼす」

志 手が届こうとしているところを表している字なんだ。



# 扱

音「ソウ」  
訓「あつか・う」

未 手でものを取りあつかう意味ね。

# 汲

音「キユウ」  
訓「く・む」

水 + 及

志 三マスの漢点字だね。水に手が及んでくみあげる。



未 口に及で吸、糸と及で綴。

# 吸

音「キユウ」  
訓「す・う」

# 綴

音「キユウ」  
訓「さら」

# 亥



音「ガイ」  
訓「い、いのしし」

志 未

十二支のいのししだ。  
太ったブタの  
骨組みの形  
なんだって。



# 該



音「ガイ」  
訓「そな、わる」

亥 十  
言

志 未

そなわる、広く物事を知っている  
という意味があるのね。  
「該当」は、その物事にあたると、  
「該博」は、広く物事に通じてい  
るという意味だ。

# 勿



音「ブツ、モチ」  
訓「なか、れ、ない」

未

色々な色の布で作った吹き流しの  
形だとか、色々な動物の背中の模様  
だとか言われているわね。

志

「…するなかれ」と禁止を表すんだ。

未

勿論の勿。「論ずるまでもない」か  
ら、「当然」の意味になるのね。

# 易



音「イ、エキ、ヤク」  
訓「やさ、しい、  
やす、い」

勿 日

志

簡単・やさしいの意で、あなどる、  
軽んずるとかの意味もあるよ。

未

それに易者の易。周易つて陰陽循環  
の運気をはかる占いだわ。

おじいちゃん

八卦(はっけ)よい!

易がつくりになる字もあるわよ。

# 賜



音「シ」  
訓「たまわ、る」

たまもの

易 貝

# 物

音「ブツ、モツ」  
訓「もの」

牛 + 勿

志 物の一般を言うのね。  
志 物質、物体、人物、動物、植物。

未 どうして、牛と勿なのかしら？

志 何だかよく分からないことから、  
志 もの一般を表すって言うんだけど  
よけいに分からなくなっちゃった  
ね。

お 勿には、この字を含んでいて、  
よく使われる部首があるのよ。

# 易

音「ヨウ」  
訓「あ、がる」  
日 / 一 / 勿

志 独立した漢字なんだね。

未 うーん、でも普通は部首  
として出てくるのよね。



# 揚

音「ヨウ」  
訓「あ、げる、あ、がる」

手 + 易

未 手でものを持ちあげるのね。

おじ 国旗掲揚や、浮揚の揚だ。  
未 他に…ええと…

おじ 止揚、揚棄の揚でもあるね。

お もう少しやさしいのいかしら？

志 意気揚々、荷揚げ、  
揚子江のヨウもこの字だよ。

# 陽

音「ヨウ」  
訓「ひ」  
こざとへん + 易

未 陰陽の陽ね。太陽の光のことね。

志 丘の上に日が昇るんだね。  
太陽、陽気、陽光…。



場

訓「ジョウ」

易 + 土

志 日のあたるところ、その地点の意味だね。

未 場所、市場、工場、劇場、野球場  
例はいくらでもあるわ。

湯

訓「ユ」

易 + 水

未 水が熱く沸き上がる意味ね。  
熱湯、銭湯、茶の湯、湯煎…。

お どう？ 旁になる字で何か気がついたことあるかしら？

志 旁が同じだと、音も共通するのが多いっていうのかな？

未 そうね、陽と湯の音は少し違うよ  
うだけど古くさかのぼれば、もし  
かしたら同じだったかもね。

志 それと、この基本文字は、一マス目に

どれかが付くということだ。

お それでは、今日の近似文字。



及	井	傍則基本文字
乃	井 韋	近似文字

お 「井」が旁になる字は少なかつたけれど、近似文字の「韋」(イ・なめしがわ)が旁になる字は色々ありそうよ。

緯

イ  
よこいと

違

イ  
ちがう

偉

イ  
えらい

葦

あし

(作・岡田 絵・吉田)



ニコライ 堂<sup>よ</sup>の夜<sup>ゆ</sup> 遙<sup>り</sup>りかへり 鳴る 鐘<sup>の</sup>の

大<sup>おお</sup>きあり 小<sup>ち</sup>さきあり 小<sup>ち</sup>さきあり 大<sup>おお</sup>きあり



北原 白秋

北原 白秋

ニコライ堂とは明治二十四年に建てられた日本ハリスト正教会の本部で神田駿河台にあります。

私はこの鐘の音を知らないのですが、この一首を読んだとき、頭上を渡ってゆく鐘の音のおおきな響きを感じました。夜を遥り返す程の音は、響きあいながら天の高みへとあがってゆくのです。同じ言葉を下の句でくり返すことによって豊かな鐘の音が心いっぱいひろがるように思います。聖夜とはこのような夜だと感じられるのです。

福 寿 草<sup>つぼみ</sup>のかたき 蒼<sup>ゆうべ</sup>にこの夕

福 寿 草<sup>つぼみ</sup>のかたき 蒼<sup>ゆうべ</sup>にこの夕

息<sup>いき</sup>ふきかけて ゐる 子 どもはや

息<sup>いき</sup>ふきかけて ゐる 子 どもはや



鳥本 赤彦<sup>しまき あかひこ</sup>

早春を告げて売られる福寿草は黄色の蒼のほうが多いようです。今にもひらきそうにふくらとしていたものも、かたい蒼のものも、いかにも春を感じさせます。その福寿草に子供がそっと息を吹きかけているのです。春だよ暖かになったよ、と言うように。子供は福寿草よりも春が待ち遠しいのでしょう。結句のはやにそれが表れています。難しいことは何も言わなくても、子供の姿を詠んでさわやかです。

### 編集後記

表紙の絵を描いて頂いている岡稲子さんの絵が“赤とんぼの街づくり運動大田区写生大会”で入選（赤とんぼ賞）したお知らせがありました。「いいかげんに描いた絵で恥かしいのですが…」（岡さん談）お人柄が出ているやさしい色合いの絵です。大田区のH.P.で、ご覧頂けます。

<http://www.city.ota.tokyo.jp/ota/eco/kantai/nyusen/nyusen.htm>

表紙絵 岡 稲子

※本誌（活字版・テープ版・ディスク版）の無断転載はかたくお断りします。

次回の発行は平成15年2月15日です。宇田川 幸子